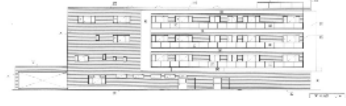


1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	医療法人北陽会 (仮称)北陽会病院	階数	地上4F	
建設地	愛知県春日井市八幡町118番、124	構造	S造	
用途地域	第1種中高層住居専用地域、準防火	平均居住人員	190 人	
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2019年1月 予定	評価の実施日	2017年11月27日	
敷地面積	1,962 m ²	作成者	水谷 昭彦	
建築面積	1,191 m ²	確認日		
延床面積	3,982 m ²	確認者	水谷 昭彦	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 87%
 ③上記+②以外の 87%
 ④上記+ 87%

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.5</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center;">0.0 %</p> <p>建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.4</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
 LR-3 1 地球温暖化への配慮
 ②資源の有効活用
 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減
 ③敷地内の緑化
 Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

3 対応性・更新性				3.3	0.29	3.2	3.2	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり				4.0	0.31	3.4	3.4	0.50	
1 階高のゆとり			1F階高:3.800m	4.0	0.60		3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			【共用部】壁長さ比率:0.16【住居部】壁長さ比率:0.19	4.0	0.40		4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.31		3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.0	0.38				
1 空調配管の更新性		②		3.0	0.17				
2 給排水管の更新性				3.0	0.17				
3 電気配線の更新性				3.0	0.11				
4 通信配線の更新性				3.0	0.11				
5 設備機器の更新性				3.0	0.22				
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22				
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30				1.8
1 生物環境の保全と創出		独自③		1.0	0.30				1.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④		2.0	0.40				2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30				2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		3.0	0.50				
3.2 敷地内温熱環境の向上				2.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性									3.4
LR1 エネルギー				-	0.40				3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制			[BPIm:0.76]	5.0	0.30				5.0
2 自然エネルギー利用			トップライトの設置	4.0	0.20				4.0
3 設備システムの高効率化				2.8	0.30				2.8
4 効率的運用				2.5	0.20				2.5
集合住宅以外の評価				2.5	1.00				
4.1 モニタリング				3.0	0.50				
4.2 運用管理体制				2.0	0.50				
集合住宅の評価				-	-				
4.1 モニタリング				-	-				
4.2 運用管理体制				-	-				
LR2 資源・マテリアル				-	0.30				3.5
1 水資源確保				3.4	0.15				3.4
1.1 節水			節水コマ・省水型機器の採用	4.0	0.40				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60				
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67				
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33				
2 非再生性資源の使用量削減				3.6	0.63				3.6
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.07				
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24				
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②		3.0	0.20				
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	せつ器質タイル(リクシル・スタイルレイS、スタイルレイ)、再生砕石	4.0	0.20				
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.05				
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	軽量鉄骨下地	5.0	0.24				
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.22				3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32				
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.68				
1 消火剤				-	-				
2 発泡剤(断熱材等)			吹付硬質ウレタンフォームA種を採用	5.0	0.50				
3 冷媒				3.0	0.50				
LR3 敷地外環境				-	0.30				3.1
1 地球温暖化への配慮		①	ライフサイクルCO2排出率:82%	3.5	0.33				3.5
2 地域環境への配慮				3.0	0.33				3.0
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25				
1 雨水排水負荷低減		独自		3.0	0.25				
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25				
3 交通負荷抑制		独自		3.0	0.25				
4 廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.25				
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33				3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40				
1 騒音		独自		3.0	1.00				
2 振動		独自		-	-				
3 悪臭				-	-				
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40				
1 風害の抑制				3.0	0.70				
2 砂塵の抑制				-	-				
3 日照障害の抑制				3.0	0.30				
3.3 光害の抑制				3.0	0.20				
1 屋外照明及び屋内照明のうらみに漏れる光への対策				3.0	0.70				
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30				

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

医療法人北陽会 (仮称)北陽会病院 新築工事

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.5
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.5	0.10	
② 資源の有効活用				3.4
Q2-2	耐震性・信頼性	3.2	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.3	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.6	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:0%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用				1.0
		(評価ポイント)		
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 $\frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み})\text{の総和}}{\text{重みの総和}}$

重点項目スコア= $\frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み})\text{の総和}}{\text{重みの総和}}$

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 医療法人北陽会（仮称）北

計画上の配慮事項	
総合	遮音性の高い外装材の採用、断熱効果の良い複層ガラス、エコガラスを採用した。
Q1 室内環境	居室の窓を大きくし採光の確保に努め、サッシのガラスを複層にして断熱、遮音性に配慮した。 使用建材はF☆☆☆☆製品とし、化学物質汚染被害を防止する。
Q2 サービス性能	将来の更新を想定し、全室ビニールクロスを採用。
Q3 室外環境（敷地内）	トップライトの採用により開放的な空間とした。 排熱を伴う設備を高所に配置した。
LR1 エネルギー	エネルギー効率の良い機器の採用に配慮した。
LR2 資源・マテリアル	限りある資源を有効に利用するため、リサイクル可能な材料の採用に配慮した。
LR3 敷地外環境	敷地外の日影の影響を考慮して建物の高さに配慮した。
その他	